

清沢満之 仏教思想家。真宗大谷派の僧。厳しい禁欲生活を自らに課し、近代的信仰を樹立して影響及ぼすも、早世。

きよさわまんし

8月18日政変 1863 = 生。名古屋黒門町の尾張藩士徳永永則の子。

明治維新・・・1868 = 5歳：

学問のすすめ1872 = 9歳：

明治6年政変 1873 = 10歳：

佐賀の乱・・・1874 = 11歳：愛知外国語(英語)学校に入学。

大久保暗殺・1878 = 15歳：_得度。京都の東本願寺育英教校に入学。

明治14年政変1881 = 18歳：

新体詩抄・・・1882 = 19歳：_本山から東京留学を命ぜられ、東京大学に入り、

在学中哲学をフェノロサに学び、ヘーゲルの思想に示唆をえた。

国民之友始・1887 = 24歳：_哲学科を卒業。

初の対等条約1888 = 25歳：_京都府が東本願寺に経営を委託した府立尋常中学校長となる。宗門人として生きることを決意、清沢やす子と結婚し、愛知県の真宗大谷派の西方寺に入った。

帝国憲法発布1889 = 26歳：

帝国議会始・1890 = 27歳：_厳しい禁欲生活に入り、衣食住に"ミニマム・ポシブル"を求めて自己鍛錬に努める。

足尾鋇毒始・1891 = 28歳：_岡崎学館(東本願寺新法主学問所)の改革を主張し、主任となる。母死去し、ますます禁欲修道にはげむ。

日清戦争始・1894 = 31歳：_結核発病のため職を辞し、道友沢柳政太郎らの強請で兵庫県舞子で療養生活に入ったが、この間内面に大きな転換があり、"自力の迷情"をひるがえして他力の信仰を獲得した。このころ東本願寺では元治1年の兵火焼失後の再建経費と多くの負債整理のため財政本位の宗政が行われたが、清沢らは本来の教学中心の寺務に改めるよう建言し、

白馬会・・・1896 = 33歳：_京都白河村に籠居し、同志とともに{教界時言}を発刊して改革を訴え、井上円了、村上专精、南条文雄ら宗門学者も呼応した。

八幡製鉄始・1897 = 34歳：_しかし清沢らは本山から除名処分を受け、革新運動は挫折するも、

子規句歌革新1898 = 35歳：_許され、この運動で教学復興が喚起され、

Bushidou・・・1899 = 36歳：

田中正造直訴1901 = 38歳：_真宗大学(大谷大学の前身)は新学制による求道者養育の学府として東京巢鴨に移り、清沢は初代学監となった。一方、前年から東京本郷森川町に浩々洞を営み、

教科書疑獄・1902 = 39歳：_真宗大学卒業生らと雑誌{精神界}を発刊し、"精神主義"を提唱。学監を辞し、

日比谷公園・1903 = 40歳：_絶筆「我信念」を残して、病没した。